

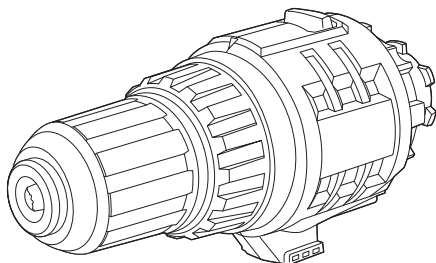
18V充電式マルチツール専用 ドリルドライバーユニット

型式:SL-18MDDR-A

取扱説明書

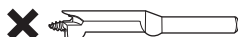
ご使用前に本紙最終ページ「保証書」を必ずお読みになり、内容をご確認・ご了承ください。

また、取扱説明書の内容を十分理解したうえで使用し、お手元に大切に保管してください。



安全上のお知らせ

- バッテリーパックを使い切った後は、目安として30分以上本体を休ませてください。
- 取扱説明書に記載されている能力を超える作業には使用しないでください。
- 使用前にマルチツール本体と本ユニットが確実に接続されていることを確認してください。(P6参照)
- 本製品は石材・コンクリート・タイルの穴あけには使用できません。
- 穴あけをする場合は強い反発力が生じますので確実に本体を保持してください。
- 本製品は、しいたけビットなどの特殊な先端工具は使用できません。(故障の原因)



- ねじなどの締め付け・緩めに
- 木材・樹脂・軟鉄板等の穴あけに

お客様へ

マルチツール本体・バッテリーパック・充電器についてはそれぞれの取扱説明書に従い、正しく使用してください。

お使いになる前に

本製品を安全にお使いいただくために

- 必ず取扱説明書をよくお読みになり正しくお使いください。
取扱いに不慣れな人や正しい操作のできない人はお使いにならないでください。
- 本製品を正しく安全にお使いいただき、ご自身や周囲に危険が及ぶ可能性を防止するために、
下記のように『警告』・『注意』・『注』の3種に区分しています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってお使いください。
- 『注意』に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。



人が死亡
又は重傷を負う可能性が
想定される内容



人が傷害を負う可能性
及び物的損害の発生が
想定される内容



本製品や付属品の
取扱いなどに関する
重要な注意事項



1. 指定の先端工具以外は使用しないでください。
2. 使用中は本体を確実に保持してください。
 - ねじ締め開始・終了直前に強い反発力が生じます。作業中は本体が振り回されることがありますので、確実に保持していないとけがの原因となります。
3. 取扱説明書に記載されている用途、又は能力以上の作業に使用しないでください。特にモーターをロックさせるなどの無理な使用はしないでください。
 - 本製品は石材・コンクリート・タイルの穴あけには使用できません。ドリル刃や加工物が破損するだけでなく、本体が故障するおそれがあります。
4. 使用する先端工具の使用方法・注意事項をよく読み、その指示を守って安全に作業してください。
5. 作業前に必ず埋設物がないことを十分に確認してください。
 - 作業中、埋設物（電線管・水道管・ガス管等）への接触による感電及び、穴あけによる水漏れ・ガス漏れ等のおそれがあります。
6. 加工する対象物の中に異物（釘や鉄筋等）がないことを十分に確認してください。
 - 加工中、異物に先端工具が触れると破損するだけでなく、強い反発力が生じけがの原因となります。
 - 不安定なまま作業するとけがの原因となります。
7. あまりにも小さな物の穴あけ・ねじ締めは危険ですのでしないでください。また、加工する物はクランプ・バイス等でしっかり固定してください。
 - 不安定なまま作業するとけがの原因となります。

- 8.材料側を動かして加工する場合を除き、加工物はしっかりと固定してください。
 - 加工物・対象物は必要に応じてクランプや万力等で固定してください。手で加工物を保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます。
- 9.回転中・作業直後の先端工具や切りくずは危険です。絶対に触ったり、顔を近づけたりしないでください。(けがの原因)
- 10.使用中、本体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切り使用を中止し、お買上げの販売店に修理をお申しつけください。
又は(株)高儀「お客様相談窓口」(ホームページ含む)に相談してください。
- 11.先端工具を交換するときは、必ずスイッチを切り本体からバッテリーパックを取り外してください。
- 12.誤って落としたり、ぶつけたときは、本体などに破損や亀裂・変形がないことをよく点検してください。破損や亀裂・変形があると、けがの原因になります。



- 1.建築作業など精度が必要な作業には使用しないでください。
- 2.先端工具や付属品は取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
- 3.ねじのサイズに合った先端工具を使用してください。
 - ねじのサイズに合った先端工具を使用しないと、ねじをいためる原因となります。
- 4.ねじ締め終了直前に強い力が働きます。ドライバビットの先端は、ねじ頭の溝に完全に差し込んだ状態で使用してください。
- 5.キーレスチャック開閉は、必ず手で行ってください。スイッチ引き金を引き、回転を利用して開閉すると、チャックのツメがロックされる場合があります。
- 6.回転部に切りくずやごみ等が入らないように注意してください。入った場合は逆さにするなどしてごみを取り除いてください。
- 7.低速回転でモーターが停止するような作業を連続して行くと故障の原因となります。
 - 本製品はスイッチ引き金を引く強さで回転数の調整(無段変速)を行います。モーター焼損などの故障の原因となりますので、低速での連続作業はしないでください。
- 8.本製品を無理に押し付けて回転数を大幅に低下させないでください。作業能力率が低下するばかりでなく、製品や先端工具の寿命も短くなります。
- 9.本製品はしいたけビットなど特殊な先端工具には適しません。(故障の原因)
- 10.取扱説明書に記載されている最大トルクを超える作業(タイヤ交換など)には使用しないでください。

お使いになる前に(続き)

11. 作業前に先端工具の状態を確認してください。

- 劣化した先端工具や耐久性の低い先端工具を使用すると破損やけがの原因となります。

12. 大径の穴あけをする場合は、強い反発力が生じますので確実に本体を保持してください。(けが・故障の原因)

13. やけどに注意してください。

- 連続で作業していると本体が熱を持ちます。冷ましながら作業するなど、注意して使用してください。

14. 作業後の加工物には、かえりができていることがありますので、注意してください。(けがの原因)

15. 本体内部に切りくずやごみ等が入らないように注意してください。



1. 締付時間・締付トルクについて。

- 締付時間を長くすると締付トルクも増加しますが、ある一定値以上は増加しません。締付トルクは材質やサイズによって変化します。
- 小さいトルクしか必要としないねじなどに本製品を使用すると、ねじが破損するおそれがあります。
- 締付トルクはバッテリーパックの充電状態により変化します。バッテリーパックの残量が少なくなると急激に締付トルクが低下します。

本製品について

用 途

◆ねじなどの締め付け・緩めに ◆木材・樹脂・軟鉄板等の穴あけに

各部の名称・セット内容

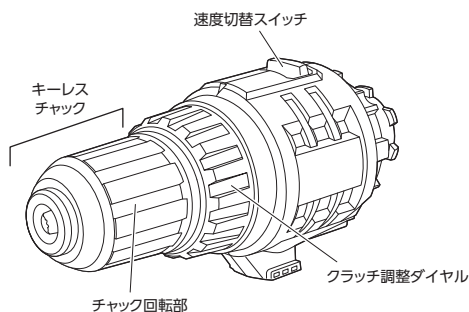
要確認

初めて梱包を開封したときは、下記の内容について確認してください。

- 付属品が全て揃っているか
- 破損した箇所はないか

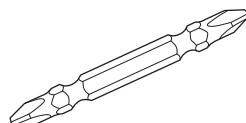
万一不具合な点がありましたらお買上げの販売店又は(株)高儀までご連絡ください。

本 体



ドリルドライバーユニット本体×1

付属品



6.35mm六角軸
両頭ビット⊕No.2×65mm×1

使用前の準備

仕 様

本体 (SL-18MDDR-A)

無 負 荷 回 転 数	高速0~1,300min ⁻¹ /低速0~350min ⁻¹	サ イ ズ	約長さ160×幅62×高さ77 (mm)
最大トルク (≡位置)	高速6N・m／低速25N・m	質 量	約0.66kg
ク ラ ッ チ 数	22段 (最小1～最大22)		

ねじ締め (最大) 別売バッテリーパック (SL-182BP-A) をフル充電した
1回あたりの作業量目安 (周囲温度20℃)

※クラッチ設定:22

使用ねじ	材 料	速 度	締付本数
φ4.1×38mm	米松	高速	約560本
		低速	約600本

穴あけ (最大) 別売バッテリーパック (SL-182BP-A) をフル充電した
1回あたりの作業量目安 (周囲温度20℃)

ドリル寸法	材 料	速 度	孔 数
木工用ドリルφ10mm	米松 (厚み50mm)	高速	約240孔
木工用ドリルφ15mm		低速	約120孔
鉄工用ドリルφ5mm	冷間圧延鋼板 (厚み1.6mm)	高速	約120孔
鉄工用ドリルφ10mm		低速	約40孔

※数値は目安です。バッテリーパックの使用頻度や加工物の種類、先端工具・本体の消耗具合等の作業条件により異なります。
また、締付本数は締付時間が長くなるほど少なくなり、短くなるほど増えます。
※バッテリーパック2.0Ah取付け時の数値です。バッテリーパック4.0Ah取付け時の能力は約2倍に、5.0Ah取付け時の能力は約2.5倍になります。

ヘッドユニットの交換方法



警告

- ヘッドユニットの交換は必ず本体からバッテリーパックを取り外してから行ってください。
- 先端工具が装着された状態でのヘッドユニットの交換は行わないでください。(けがの原因)

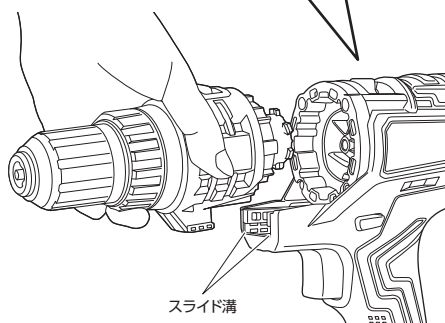
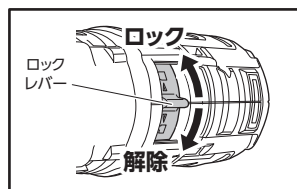
取付け

1. 本体とヘッドユニットのスライド溝をきちんと合わせて、「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

2. ロックレバーを「ロック」の方向にスライドしてください。

※本体にヘッドユニットを差し込んだだけではロックは不十分です。

必ずロックレバーを奥までしっかりとスライドしてください。

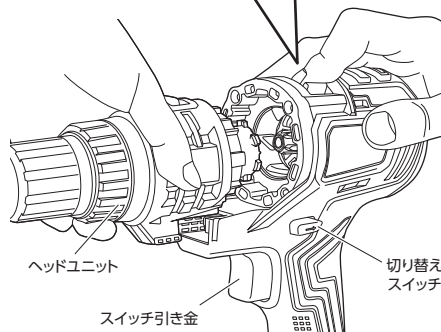
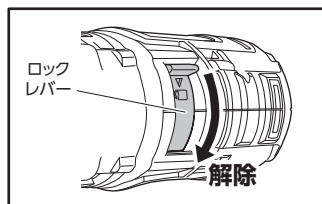


取り外し

- ロックレバーを「解除」の方向に押し込みながらヘッドを取り外してください。

※ヘッドユニットを取り外すときは本体を下に向けしないでください。

ヘッドユニットが落下して破損するおそれがあります。



使用前の準備(続き)

先端工具の取付け・取り外し



- 必ずスイッチを切り、本体からバッテリーパックを取り外してください。
バッテリーパックを本体に取り付けたまま行くと、事故の原因になります。



- 先端工具の着脱時は、手など身体を傷付けないよう十分注意してください。
- 作業中・作業直後の先端工具や本体(モーター)・加工物・切りくず等は非常に熱くなっています。冷えるまで直接手肌に触れないでください。(やけどの原因)
- 先端工具は取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
- キーレスチャックの開閉は、必ず手で行ってください。スイッチ引き金を引き、回転を利用して開閉するとチャックのツメがロックされる場合がありますので絶対にしないでください。



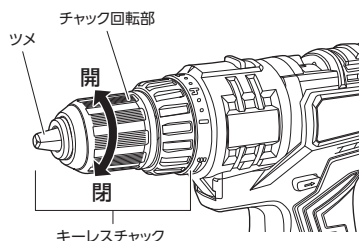
- 先端が右図のようになっているときは、チャックのツメが開ききっています。「閉」の方向に回してください。



取付け方法

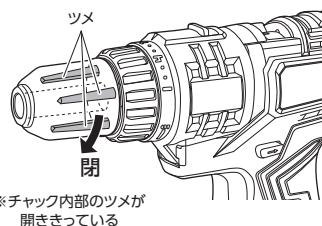
1. 本体をしっかり握り、チャック回転部を矢印の「開」の方向に回して、チャックのツメを開きます。

※チャック回転部を「開」の方向に回すことができない場合は、既にチャックのツメが開ききっています。



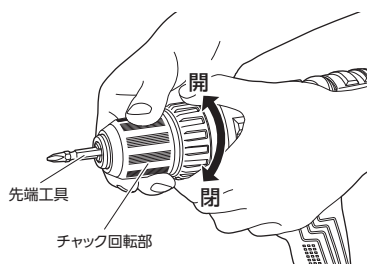
2. 先端工具を3本のツメの中央に入れ、本体をしっかり握り、チャック回転部を矢印の「閉」の方向に回して、チャックのツメで先端工具を強く締め付けてください。

※締め付けが弱いと作業中にチャックのツメが緩んで先端工具が外れます。



取り外し方法

- 本体をしっかり握り、チャック回転部を矢印の「開」の方向に回して、チャックのツメを開いて先端工具を抜き取ってください。

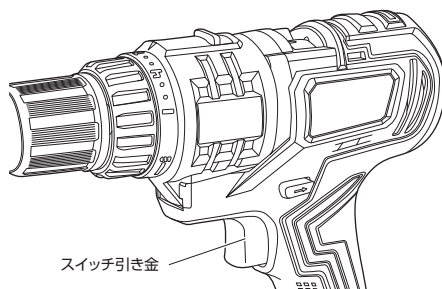


使い方

操作方法

■スイッチ引き金操作

- スイッチ引き金を引くと回転し、離すと回転が止まります。また、スイッチ引き金の引き具合により回転数を調整できます。
- スイッチ引き金を離すと停止します。

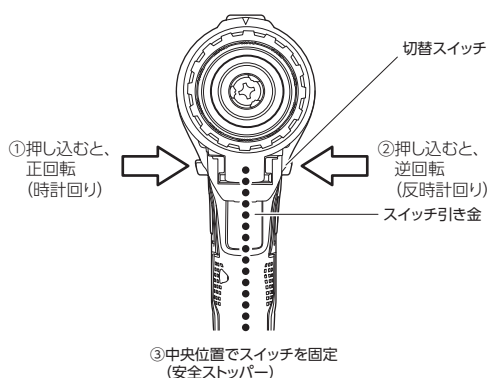


回転方向の切り替え



- 回転方向の切り替えは、モーターの回転が完全に停止した状態で行ってください。
- 回転方向を切り替える場合は、切替スイッチを完全に押し切ってください。

- 切替スイッチで、回転方向の切り替えができます。また、切替スイッチを中央位置にすることで、安全ストッパーが働きスイッチ引き金を固定することができます。



使い方(続き)

クラッチの調整



- クラッチ調整ダイヤルは、カチッと音がするまで完全に切り替えてください。切り替えが完全でない場合、故障の原因となります。



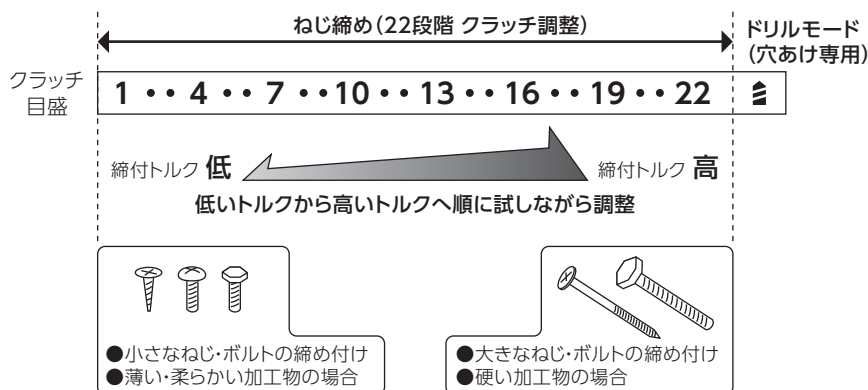
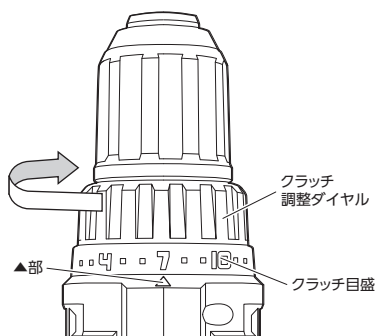
- 薄い・柔らかい天井材・接続端子のねじ締めなどで、ねじ頭の溝やねじ山をいためるおそれがある場合には、必ず低いトルクから順に試しながら適切なトルクになるよう調整していきましょう。
- 木材・プラスチック等へのねじ締めで締付トルクを高めに調整しているときは、条件(相手材の硬さなど)によってはクラッチが作動しない場合があります。この場合、強い反発力が生じますので、確実に本体を保持してください。

- 本製品はねじを締め付けるトルクを22段階に調整することができます。設定以上のトルクがかかると、クラッチ機構が働き空回りして、締め付け過ぎやねじの破損を防ぎます。

- クラッチ調整ダイヤルを回転させ、本体上部の▲部にクラッチ目盛を合わせてください。
トルクは、1・・・4～22の順に強くなります。低いトルクから順に試しながら高いトルクに調整していき、作業に応じたトルクに調整してください。

- ※高速の場合、クラッチの段数が高過ぎると保護機能が働き、クラッチが正常に作動しない場合があります。その際は、低速に切り替えて使用してください。

- 穴あけ作業の場合は、クラッチ目盛をドリルマーク(🔧)位置に合わせてください。ドリルマーク(🔧)位置の場合、クラッチは作動しません。



速度の切り替え



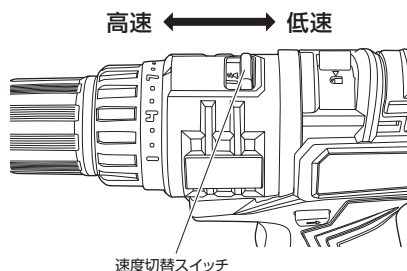
- 速度の切り替えは、モーターの回転が完全に停止した状態で行ってください。
- 速度を切り替えるときは、速度切替スイッチを完全にスライドさせてください。
- 速度切替スイッチが引っかかり完全にスライドしない場合は、スイッチ引き金を引いてチャックを回転させてから再度速度切替スイッチをスライドさせてください。

- 速度切替スイッチを操作することで回転数を切り替えることができます。

- 速度切替スイッチを後ろ(1が見える状態)にスライドさせると低速、前(2が見える状態)にスライドさせると高速になります。

作業用途に合わせて速度を切り替えてください。

※大径の穴あけをする場合はトルクの大きい低速(1が見える状態)を使用してください。



手締め機能

- スイッチ引き金を引いていない状態では、先端のチャックが回転しないので、手回しドライバーのように手締め確認することができます。
- 最後の確認締めやさびついたねじを緩めるときなどに便利です。

使い方(続き)

作業方法



- 作業中は、本体を確実に保持してください。作業中は本体が振り回されることがありますので、確実に保持していないとけがの原因となります。
- モーターをロックさせるなどの無理な使用はしないでください。



- 作業中・作業直後の先端工具や本体(モーター)・加工物・切りくず等は非常に熱くなっています。冷えるまで直接手肌に触れないでください。(やけどの原因)
- 低速回転でモーターが停止するような作業を連続して行わないでください。(故障の原因)

ねじ締め



- ビットの先端は、ねじ頭の溝に完全に差し込んだ状態で使用してください。
- 締め付けるねじに対して本体をまっすぐに保持してください。本体がねじに対して斜めになっていると、ねじ頭の溝をいためることがあります。
- ねじのサイズに合ったビットを使用してください。ねじのサイズに合ったビットを使用しないとねじ頭の溝をいためる原因となります。
- 小さ過ぎるねじの締め付けには使用しないでください。ねじが破損するおそれがあります。
- ドリルマーク(※)位置でねじ締めは行わないでください。ねじや相手材をいためるだけでなく、故障の原因となります。

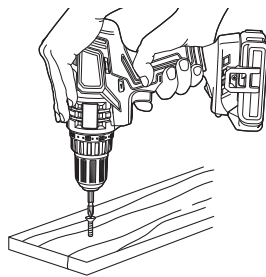
1. ビットを本体に取り付けてください。(P7参照)

2. クラッチ目盛を「1」に合わせます。

3. ビットをねじ頭の溝にきちんと当て、スイッチ引き金を引きながら、ビットがねじ頭の溝から外れない程度の力で押し付けてください。

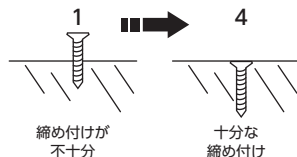
4. ねじを締め付けていき、クラッチが作動したらスイッチ引き金を離してください。

5. ねじの締め付けが十分でない場合は、クラッチ調整ダイヤルを回して締付トルクを順に高くしながら、作業に応じたトルクに調整してください。



〈例〉木ねじを締める場合

クラッチ目盛



※クラッチ目盛は例です。使用する木ねじや相手材により変わります。



径の大きいねじを締め付けるときや加工物が硬い場合などは、先に下穴をあけることで作業効率のアップ、また、加工物の割れを防ぐことができます。

穴あけ



- 回転中のドリル刃には絶対に手・顔等を近づけないでください。
- 本製品は石材・コンクリート・タイル等の穴あけには使用できません。ドリル刃や加工物が破損するだけでなく、本体が故障するおそれがあります。



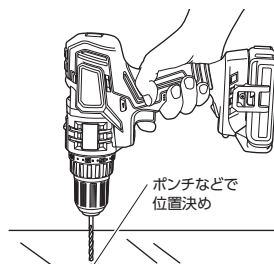
- ドリル刃は加工物に合ったドリル刃(市販品)を使用してください。
- 最大能力以上のドリル刃を使用しないでください。(故障の原因)

■金属などの穴あけ

1. 鉄工用ドリル刃を本体に取り付けてください。(P6参照)
2. クラッチ調整ダイヤルをドリルマーク(🔩)位置に合わせます。
3. ポンチなどで穴あけ位置にくぼみを付け、そのくぼみにドリル刃の先端を軽く当てます。本体をまっすぐに保持したままスイッチ引き金を引き、軽く押し付けながら作業してください。
4. 穴あけが終わったら、ドリル刃を逆回転させながらゆっくり慎重に抜いてください。

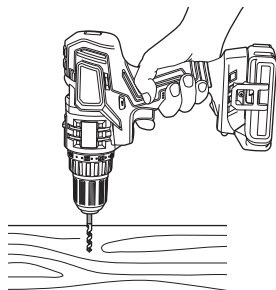
- 金属への穴あけの場合、ドリル刃の先端に切削油を付けると作業がスムーズに行えます。

※ドリル刃・ポンチ・切削油等はセット内容に含まれておりません。

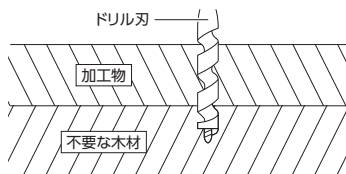


■木材などの穴あけ

1. 木工用ドリル刃を本体に取り付けてください。(P6参照)
2. クラッチ調整ダイヤルをドリルマーク(🔩)位置に合わせます。
3. ドリル刃の先端を穴あけ位置に軽く当て、本体をまっすぐに保持したままスイッチ引き金を引いてください。
4. 穴あけが終わったら、ドリル刃を逆回転させながらゆっくり慎重に抜いてください。



不要な木材を下に置いて一緒に穴をあけるときれいに穴をあけることができます。



お手入れ

お手入れと保管

ヘッドユニットについて

■各種ねじの点検

- 各部取付けねじなどで緩んでいる場所がないか定期的に点検してください。
もし、緩んでいる場所があれば締め直してください。

■清掃

- 使用後は本体の汚れやほこりをきれいに取り除いてください。
- ワックス・アルコール類・シンナー・ベンジン等は使用しないでください。また、水をかけての丸洗いはしないでください。
(破損・故障の原因)
- 汚れの著しい場合は、薄めた中性洗剤を使用して水拭きしてください。その後、乾いた布で水分が残らないように拭き取ってください。

■保管

- 使用しないときは、直射日光の当たらない・風通しの良い・乾燥した・お子様の手の届かない安全な場所、又は鍵のかかる場所にきちんと保管してください。
- 本体を温度が50℃以上に上がる可能性のある場所(使用中の暖房器具の付近・車中・直射日光下)に保管しないでください。

先端工具について

■点検

- 先端工具は消耗品です。作業により変形・摩耗・劣化しますので定期的に先端工具を点検し、異常が見られた場合はすぐに交換してください。

■清掃

- 使用後は先端工具の汚れやほこりをきれいに取り除いてください。

MEMO

[illegible]

保証書

販売店名・お買上げ年月日を証明できる物(販売証明書やレシート等)が添付されていない場合、本書は**無効**となり、保証期間内であっても有料修理となります。必ずご確認ください。

- 保証期間内において取扱説明書などの注意書に従い、正常な使用・保管状態で故障した場合、本書により無償で修理致します。
- 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合には、製品と本書に販売証明を付けた物をご持参のうえ、お買上げの販売店にご依頼ください。

品 名	EARTH MAN 18V充電式マルチツール専用 ドリルドライバーユニット		お 買 上 げ 日	年 月 日	
型 式	SL-18MDDR-A	J A N コ ー ド	4907052 341265	保 証 期 間	お 買 上 げ 日 より 6 か 月
販 売 店	販売証明書や レシート等を 添付してください。				

- 保証内容は本製品自体の無償修理に限ります。
保証期間内におきましても、その他の保証はいたしかねます。
- 保証期間内でも次の場合は有料となります。
 - 使用上の誤り及び不当な修理・改造による故障及び損傷。
 - お買上げ後の輸送・移動・落下等による故障及び損傷。
 - 火災・地震・水害・落雷・その他の天災・異常電圧による故障及び損傷。
 - 家庭用以外(例:業務用の長時間使用、車輛・船舶への搭載等)に使用された場合の故障及び損傷。
 - 本書の提示がない場合。
 - 本書に販売店名・お買上げ年月日を証明できる物が添付されていない場合、あるいは字を書き換えられた場合、個人販売など販売店が不明な場合。
- 本書は付属品・消耗品には適用されません。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 本書は最初の購入にのみ適用され、以降の転売・譲渡には適用されません。
- この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 保証期間経過後の修理については、お買上げの販売店又はホームページからお問い合わせください。
 - 修理可能な場合は、お客様のご希望により有料で修理させていただきます。
- 当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、基本5年間保有しています。※
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
※製造部品によっては5年間保有できない場合があります。

保証規定

発売元



株式会社 高儀

株式会社 高儀 お客様相談窓口

※修理(見積り含む)・部品購入は、お買上げの販売店又はホームページから
お問い合わせください。

TEL 0258-66-1233

受付時間 AM9:00～PM5:00 (土日及び弊社休日を除く)

ホームページ:

<http://www.takagi-plc.co.jp/>



■お客様相談窓口における個人情報の取扱い

弊社は、お客様へのサービス提供のため、収集目的を通知したうえで必要な範囲の個人情報や相談内容を収集させていただき、その記録を残すことがありますが、個人情報を適切に管理し、修理業務などのサービスを行うために必要な範囲内で開示する場合や、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。